

国際文化学科履修系統図(2017年度入学)

育成人材像

国際社会に適応しリーダーシップを発揮できる人材を育成します。そのためには、国際的な視野、語学力と異文化理解力、柔軟な発想と行動力が欠かせません。国際文化学科では、学生のこうした力の向上を目指して、教育をおこないます。

育成能力

読む・書く・話す・聞くの四技能を基礎から上級まで学ぶことで、実践的な英語力を身につける。

英語以外の諸言語を第二外国語として学び、そのコミュニケーション能力を身につける。

情報社会で必要とされるパソコンやインターネットなどに関する知識と技能を修得し、実務能力を養う。

日本文化を世界的視野で捉え直す。また、世界の文化を概括的に学んだうえで日本との比較により理解を深める。

社会と文化の視点から日本と諸地域の関係を学ぶ。

各国・各地域の歴史の知識を習得したうえで、日本と諸地域の文化交流史を学ぶ。

各地域の文学を学んだうえで、日本文学へ影響やグローバル社会における新しい文学のあり方を知る。

コミュニケーションの基礎を学び、さらに異文化間コミュニケーションの基礎能力を育成する。

英語と日本語の知識と教育、その関連領域を学び、言語を用いる専門技能と教育の場における実践力を育成する。また、中国語と韓国語の会話能力の習得を基盤として日中・日韓の翻訳・通訳の基礎知識と技法の基本を習得する。

絵画・映像文化に関する基礎知識を習得し、視覚文化・表象文化の読み解き方を学ぶ。

現代社会を女性という観点から学び、その問題と解決策を考える力と自らのキャリアを形成する力を養う。

国際教養として国内外の政治・経済・法律等を学び、日本とグローバル化社会の社会的基礎を身につける。また、特に、日本の隣国であり、経済的影響も大きい中国の経済・産業・ビジネスに焦点を当てる。

人間や文化を知る視点として宗教・倫理・地理を学ぶ。

文化資源の保存や活用を行う機関として博物館・美術館およびその業務について学ぶ。

1・2年次は大学での学習に必要なスキルと社会人となるための基礎力を身につける。3年次からは専門的な知識を学び、自ら学び、発信する能力を養う。並行して自身のキャリアについて考え、希望進路に向けての準備を行う。

海外研修によって外国語でのコミュニケーションとその地域の文化と社会を体験し、自らの視野を広げる。その体験を長期の留学や海外インターンシップでの活動に発展させ、国際社会で活動する基礎能力を育成する。

スポーツを、健康や生涯学習と関連させながら学び、実践するための基礎力を身につける。

自分で学ぶことを企画立案し、実践する能力を身につける。

地域や大学について考え、地域振興を企画実践する。

英語で国際教養を身につけ、世界の文化や社会について学ぶ。

英語	Fundamentals of English I Oral Fluency I	→	Fundamentals of English II Oral Fluency II	→	Spoken Business English Intermediate Practical Discussion Skills	
	Basic Writing Skills Intermediate Grammar TOEIC: Vocabulary I TOEIC: Grammar & Listening I	→	Business English Writing Intermediate Reading Skills TOEIC: Vocabulary II TOEIC: Grammar & Listening II			
第二外国語	中国語 I A 中国語検定演習a 韓国語 I A 韓国語検定演習a	→	中国語 I B 中国語検定演習b 韓国語 I B 韓国語検定演習b	→	中国語 II 中国語読解演習 韓国語 II 韓国語読解演習	→ 中国語 III → 中国語 IV → 韓国語 III → 韓国語 IV
	ドイツ語 I A フランス語 I A スペイン語 I A ポルトガル語 I A ハンガリー語 I A ポーランド語 I A チェコ語 I A スウェーデン語 I A	→	ドイツ語 I B フランス語 I B スペイン語 I B ポルトガル語 I B ハンガリー語 I B ポーランド語 I B チェコ語 I B スウェーデン語 I B	→	ドイツ語 II フランス語 II スペイン語 II ポルトガル語 II ハンガリー語 II ポーランド語 II チェコ語 II	→ ドイツ語 III → ドイツ語 IV → フランス語 III → フランス語 IV → スペイン語 III → ポルトガル語 III → ハンガリー語 III → ハンガリー語 IV → ポーランド語 III → チェコ語 III
情報	情報メディア論 コンピュータ技能 I	→	コンピュータ技能 II			
地域文化比較	日本の社会と文化a(伝統文化) 世界の中の日本 日本文化論 アメリカ文化概論 韓国学概論 中国概論 異文化理解 比較文化概論 文化人類学	→	日本の社会と文化b(現代文化) 日本民俗学 古典芸能と現代 日本の食文化 ファッションと文化 韓国民俗論 文化遺産 仏教文化	→	国際文化特別講義 I 国際文化特別講義 II 日韓比較文化 日中比較文化	
社会	社会学入門 フランスの社会と文化 ドイツの社会と文化 中欧の社会と文化	→	多文化社会論 日本とアジア 日本と北米 日本と中南米 日本とヨーロッパ	→	ヨーロッパ世界とアメリカ 中欧地域文化研究	
歴史	歴史・文化の視点 外国史概説 日本の歴史a 日本の歴史b 韓国の歴史 中国の歴史 アメリカの歴史 ラテンアメリカの歴史	→	文化交流史a(日本・アジア) 文化交流史b(日本・欧米) 沖縄文化交流史			
文学表現	日本文学概論 中国文学の世界 韓国文学の世界 アメリカ文学概論 比較文学論	→	日本文学史 近代イギリス文学 世界の児童文学	→	日本の文学a(古典) 日本の文学b(近・現代) 漢文講読a(韻文) 漢文講読b(散文)	
コミュニケーション	コミュニケーションの基礎	→	異文化間コミュニケーション論			
言語学	言語学概論 日本語学概論a 日本語学概論b	→	日本語の音声 日本語の語彙・意味 日本語の文法a 日本語の文法b	→	言語学 日本語教授法a(教授法) 日本語教授法b(コースデザイン・評価) 日本語教授法c(教材・教具) 第二言語習得論	日本語教育事情 日本語教育実習
日本語学 日本語教授法 翻訳通訳	英語学概論a 英語学概論b 中国語コミュニケーション I 韓国語コミュニケーション I	→	英語学概論b 中国語コミュニケーション II 韓国語コミュニケーション II	→	翻訳の基礎(英日) 通訳の基礎(英日) 日中翻訳技法 I 日中通訳技法 I 日韓翻訳技法 I 日韓通訳技法 I	翻訳の技法(英日・実務翻訳) 通訳の技法(英日・実務通訳) 日中翻訳技法 II 日中通訳技法 II 日韓翻訳技法 II 日韓通訳技法 II
視覚文化 芸術	美術史 視覚文化論 日本美術 西洋美術	→	書道a(書写中心) 書道b(書写中心)	→	表象文化論	
ジェンダー論 女性学 家族論	ジェンダー論 家族論 グローバル社会と女性	→	女性とキャリアデザイン	→	ジェンダーと表現 アジアの女性論	
政治 法律 経済 ビジネス	政治学入門 日本国憲法 中国経済入門 ビジネス入門	→	法学概論 経済原論a 経済原論b アジア国際関係論 アジア経済	→	国際法 国際経済学 国際関係論 日中ビジネス事情	国際文化政策
宗教・倫理 地理	日本地理	→	宗教学概論 倫理学概論 地理学a	→	地理学b 地誌	
博物館学 生涯学習	ミュージアム入門 生涯学習論	→	ミュージアムと展示 ミュージアムと情報・メディア ミュージアムと教育	→	ミュージアム・マネジメント ミュージアムの資料 ミュージアムの資料保存	
演習	基礎演習 I	→	基礎演習 II キャリア形成演習 I	→	国際文化演習 I キャリア形成演習 II	→ 国際文化演習 II
研修 インターンシップ	留学プランニング 国際文化研修a(海外) 国際文化研修b(国内) コミュニケーションインターンシップ	→	インターンシップ			
スポーツ	スポーツ科学 I a スポーツ科学 I b	→	生涯スポーツ概論			
プロジェクト	プロジェクト教育					
大学 地域	地域と大学 自校史研究(建学の精神と大学の理念) 地域プロジェクト					
Global College						